

■仕様

型名	電源	周波数	消費電力(最大出力時)	器具光束(最大)	推奨仕様周囲温度	外形	質量
DFLC-60VE (E26ソケットタイプ)	AC100V	50Hz/60Hz 共用	12W(LED 照明: 8.5W ファン: 3.5W)	810 lm	5~35°C	約Φ210mm	約 420g
機能							
LED 照明: 明るさ 3段階・調色 3色/ファン風量 3段階調節							

■修理を依頼される前に

製品の動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。

処置をしても異常がある場合は、必ず壁スイッチをオフにしてお買い上げの販売店か当社お客様窓口までご連絡ください。



修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

現象	考えられる原因	処置方法
点灯しない ファンが回らない	電源(壁スイッチなど)がオフになっている	電源(壁スイッチなど)をオンにしてください
	ブレーカーがオフになっている	ブレーカーをオンにしてください
	ソケットが配線器具に確実に取り付けられていない	ソケットを配線器具に確実に取り付けてください
点灯しない ファンが回らない	リモコンでオフした状態、または切り忘れ防止機能がはたらいてオフになった状態で壁スイッチを操作した	壁スイッチをオンにしてリモコンでオンにしてください
	照明がオフになっている	リモコンの調光ボタンもしくは調色ボタンを押してください
	ファンがオフになっている	リモコンのファン風量ボタンを押してください
点灯しない 異音がする	前ガードが正しく取り付けられていない	正しく取り付けてください
	配線器具に正しく取り付けられていない	正しく取り付けてください
	ソケットと配線器具がゆるんでいる	本体が他と接触しないように角度調節してください
リモコン操作をしても動作の設定ができない (動作が変化しない)	本体の一部が周辺の物と接触して振動している	本体が他と接触しないように角度調節してください
	リモコンの電池が切れている	新しい電池を入れてください
	リモコンの電池が正しく入れられていない	正しく電池を入れ直してください
リモコン操作をしても動作の設定ができない (動作が変化しない)	受光部(照明部)に向けて操作していない	受光部に向けて操作してください

●LEDについて

●LEDにはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

●LED光源の交換はできません。修理の際は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●照明器具の寿命について

(社)日本照明器具工業会では、「設置後10年」を一般照明器具の交換目安としています。安全にお使い頂くため、早めの点検・交換をお勧めいたします。

※使用条件は周囲温度30°C以下で使用時間は1日に10時間点灯、年間3000時間点灯。

(JIS C8105-1解説による)



DFLC-60VE (E26ソケットタイプ) FAN付LEDミニライト 取扱説明書

一般家庭用・屋内用

この度はお買い上げ頂きありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
お読みになった後大切に保存し、必要なときに
お役立てください。

■安全上のご注意

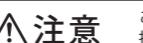
※ご使用の前に、取扱説明書「安全上のご注意」の内容をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

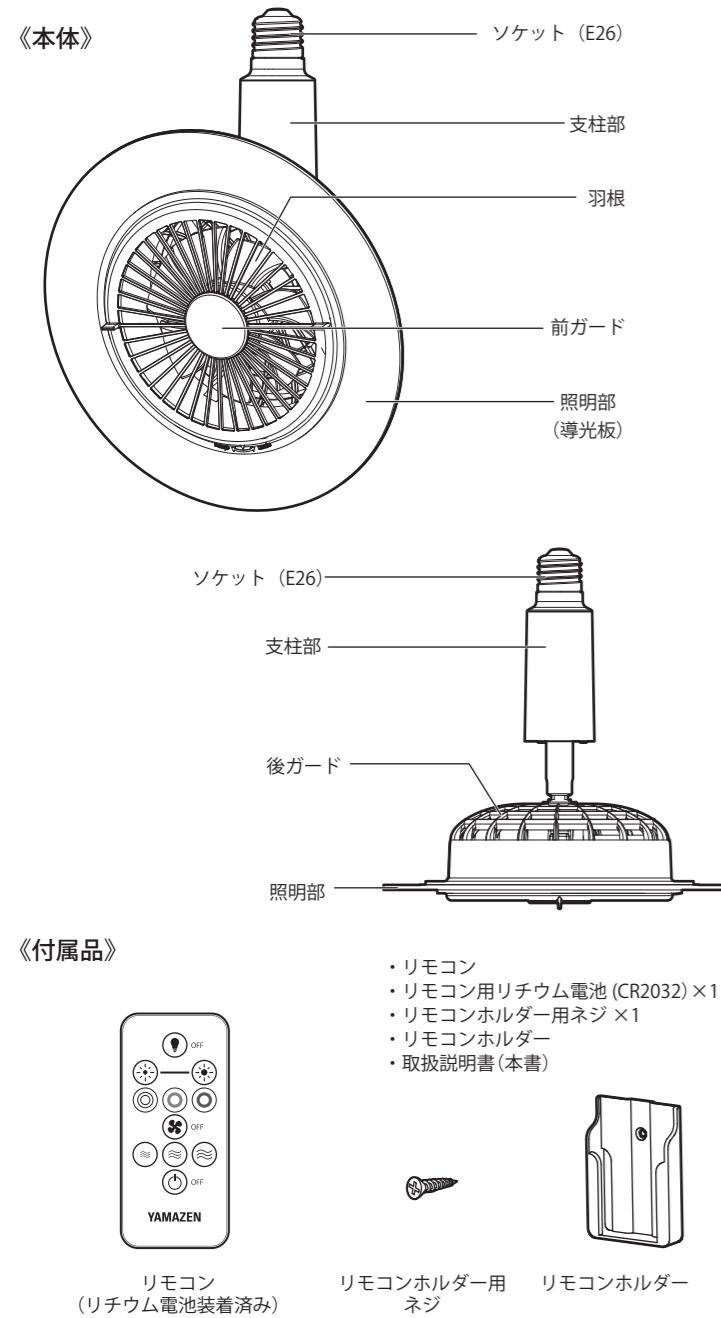


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告	警告	警告	警告
交流100ボルト以外では使用しない ・直流や交流200ボルトで使用すると火災や感電の原因となります。	このような場所には取り付けない ・天井や壁に固定されているソケットに取り付けてください。ベンダント用ソケットには取り付けないでください。 補強のない場所(ペニヤ板や石膏ボード) 傾斜した場所 壁面	器具のすきま等に金属類を差し込まない ・感電事故の原因となります。	ソケットの取付面にホコリが付着している場合は拭き取る ・ホコリが付着したままソケットに差し込むと、ショート・火災の原因となります。
異常を感じた場合、電源を切る ・異常状態が収まつたことを確認し、販売店または電気店にご相談下さい。	お手入れの際は、水洗いをしない ・感電・ショートの原因となります。	乳幼児の手の届くところでは使わない ・けが・感電の原因となります。	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける ・失明や目に障害を負う原因となります。
器具の取り付けは取扱説明書に従って確実に行う ・器具落とし・火災・感電・けがの原因となります。	取り付けできない配線器具に無理に取り付けない ・火災・感電・落としでけがの原因となります。 (取り付けできない配線器具) ・電源端子が露出しているもの ・破損しているもの ・固定が不十分でグラグラするもの	器具や光源を布や紙等で覆ったり、燃えやすいものを近づけない ・火災・損傷・過熱・故障・変形の原因となります。	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わない ・火災・感電・落としの原因となります。
ソケットが破損したり、配線器具の差込がゆるい時は使用しない ・感電・ショート・発火の原因となります。	器具の取り付けは取扱説明書に従って確実に行う ・器具落とし・火災・感電・けがの原因となります。	点灯中や消灯直後の器具にはさわらない ・器具が高温になっており、やけどの原因となります。	浴室など水や湿気の多い場所や屋外で使用しない ・この製品は非防水ですので、火災・感電・破損の原因となります。
前ガードを取り付けずに使用しない ・けが・故障の原因となります。	取り付け・取りはずしをするときは必ず電源を切って行う ・感電・ショート・発火の原因となります。	濡れた手でさわらない ・感電の原因となります。	点灯中や消灯直後の器具にはさわらない ・器具が高温になっており、やけどの原因となります。

注意	注意	注意	注意
調光器・発電機には使用しない ・器具の損傷・過熱・故障の原因となります。	風を体に長時間あて続けない ・健康を害することがあります。	長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜く ・長期間入れたままにしておくと液もれによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因となります。	リモコンを廃棄するときは電池を抜く ・そのまま廃棄すると思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
温度の高くなるものを近くに置かない ・器具の真下にストーブなどを置かないでください。火災の原因となります。	ガードの中に指などを入れない ・けがの原因となります。	器具の取り付け・取りはずし・お手入れの際は安全のため電源を切る ・通電状態で行なうと感電の原因となります。	器具の取り付け・取りはずし・お手入れの際は安全のため電源を切る ・通電状態で行なうと感電の原因となります。
シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やカビ取り剤、クレンザー等は使用しない ・器具に傷をつけたり、変色、変質の原因となります。	髪をガードに近づけすぎない ・髪が巻き込まれてけがをする原因となります。	本製品は一般家庭用です ・店舗や業務用としてご使用されますと、保証期間内でも有料修理となります。	光源を長時間直視しない ・目に悪影響を及ぼす恐れがあります。
殺虫剤・防水スプレーなどをかけない ・器具の変色、変質の原因となります。	次のような所では使わない ・ガスレンジなど炎の近く・引火性のガスがあるところ ・雨や水しぶきがかかるところ ・変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因となることがあります。	当社製品以外のリモコンが付いた照明器具や回路で使用しない ・正常に動作しないことがあります。	酸・硫黄などの腐食性雰囲気(温泉地など)の所では使用はしない ・漏電・落と・ソケット腐食の原因となります。
リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない ・液もれなどの原因となります。	器具で指定された取扱方法を守り、確実に取り付ける ・熱を持ったり、故障・落としの原因となります。	赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで使用しない ・リモコンが誤動作することがあります。	人感センサーなどの自動入切装置などには使用しない ・正常に動作しないことがあります。
リモコンの電池は直射日光のある場所など高温になる場所に置かない ・液もれや破裂、火災などの原因となります。	前ガードは正しく取り付ける ・落下してけがの原因となります。		
本製品に衝撃や振動を与えない ・けが、やけどの原因となります。	被照射物との距離を近づけすぎない ・色あせ・変色の原因となります。		
本製品の一部が破損した場合そのまま使用を続けない。また破損した部分に直接触れたりしない。 ・けが、やけど、落としの原因となります。	使用場所によっては、天井や壁紙などに悪影響を与えるので注意する ・連続照射・風の流れの影響を考えて設置してください。		
ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない ・雑音の原因となることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用してください。	設置して長期間使用しているときは、外観に異常がなくとも点検する ・点検せずに使用し続けると、火災・落とによる感電・けがの原因となります。		
ガードにハンガー等を掛けない ・火災・故障の原因となります。	リモコンの電池は+/-を正しく入れる ・間違えて入れると、故障するだけでなく液もれや破裂の原因となります。		
風の通りが悪い密閉型器具に取り付けない ・熱がこもり故障の原因となります。			

■各部の名称



■取付方法

●取付環境の確認

※本製品は以下の場所に設置することができません

- 調光機能のついた器具、回路
(調光機能：電球の明るさを調節する機能です。100% 点灯でも使用不可です。)
- 誘導灯・非常用の照明器具
- 密閉型または密閉型に近い器具(適合表示器具を除く)
- 湿度の高い場所、水がかかる場所、結露の発生する場所
- 直射日光のある場所、火や熱源に近いところ
- リモコン発信場所から3m以上ある場所(正しく操作できません。)
- E26以外の取付器具
- 白熱電球用の人感センサー付器具

取り付けができる配線器具

※E26ソケット配線器具は天井に固定されたものをご使用ください

E26ソケット配線器具でランプが下向きの開放型器具でご使用ください。



●取付方法

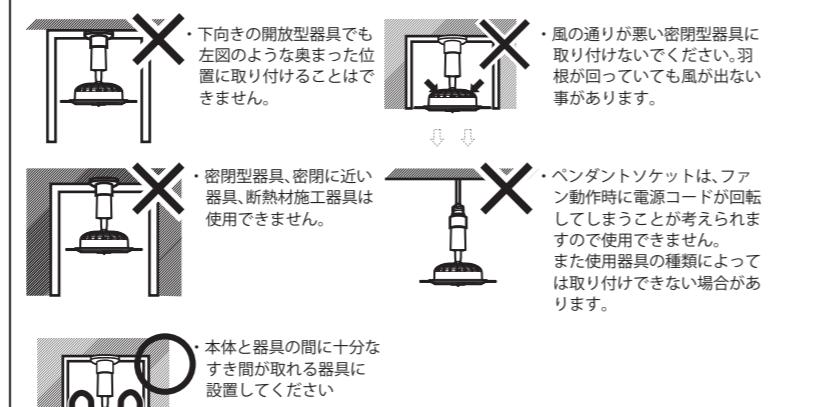
1. 壁スイッチを「オフ」にする

2. 配線器具に製品を取り付ける

- ・支柱部を右(時計回り)に回してソケットを配線器具に取り付けてください。
- ・強く回すと配線器具の破損の原因となります。
- ・本体を右(時計回り)に回すことでもソケットを配線器具に取り付けることができます。この場合、右回転させて回らなくなったら回転をやめてください。配線器具の破損の原因となります。



- ・取付が不十分だと、落下や火災等の原因となるため、最後まで回し確実に取り付ける。
- ・風の通りの悪い密閉型器具に取り付けない
風が十分に送られず、熱がこもり、故障の原因となります。

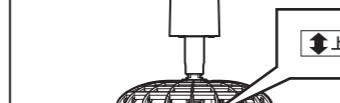
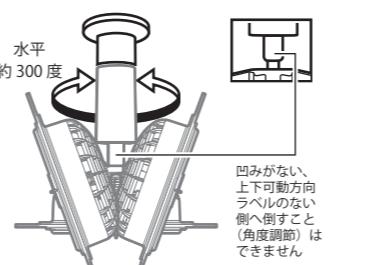


●角度調節

水平方向に約300度、上下方向に約140度に角度を調節することができます。角度調節する際は、「上下可動方向」で角度調節をしてください。



- ・「上下可動方向」以外で角度調節をしない
取付器具の破損の原因となります
- ・可動範囲以上に無理に回さない
破損の原因となります

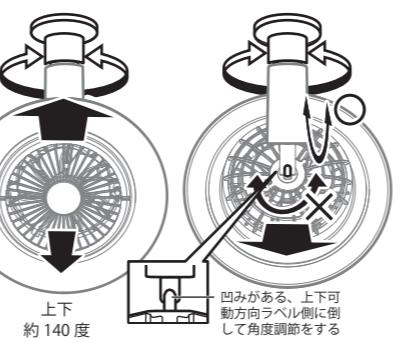


水平方向

水平方向に角度調節するには、支柱部または本体を持って回すことにより、約300度、自在に調節することができます。

上下方向

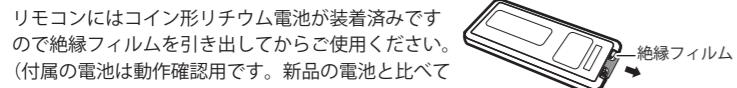
本体と支柱部の間の連結部に凹みのある方向にのみ、角度調節することができます。凹みのある方向には、本体外周部に上下可動方向ラベルが貼付されています。



■ご使用前の準備

●リモコンについて

リモコンの絶縁フィルムの引き出し



リモコンにはコイン形リチウム電池が装着済みです

ので絶縁フィルムを引き出してからご使用ください。

(付属の電池は動作確認用です。新品の電池と比べて

短期間で寿命になります。)

電池交換のしかた

リモコンの電池が消耗したときは、以下の方法で電池を交換してください。

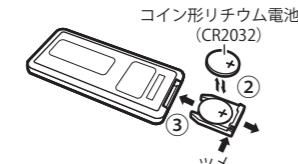
①電池ケースを引き出す

リモコン裏下側にあるツメを内側に倒しながら
電池ケースを引き出してください。



②古い電池を取り出し、電池の向きに注意して新しい電池を電池ケースに入れる

- ・電池の①側を上にして入れてください。
- ・取り外した古い電池は、危険ですのでお子様の手の届く場所には保管しないでください。
お住いの自治体の指示に従って適切に処分してください。

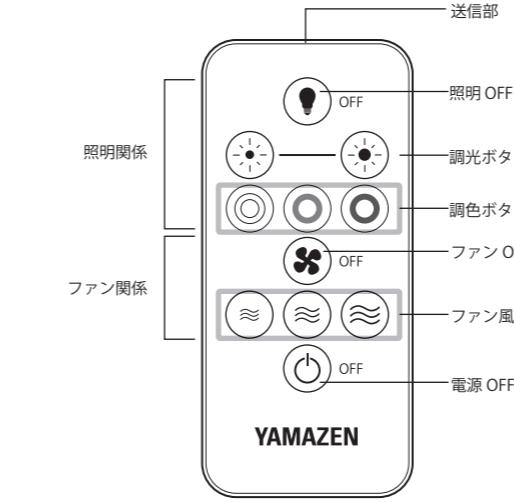


③電池ケースを本体に差し込む

- ・長時間使わないときは、電池を取り外す。
- ・電池の破裂や液もれを防ぐため、④側を正しく入れる。
- ・電池の充電、ショート、分解、火への投入、加熱などはしない。
- ・万が一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。
- ・電池を子供が飲み込んだりしないように必ず電池ケースに入れる。

■使い方

●リモコンボタンについて



リモコン操作

リモコン操作は、リモコン送信部を本体照明部にあるリモコン受光部に向けて操作する必要があります。

使用可能範囲

- ・本体リモコン受光部正面から直線で約3m以内
- ・本体リモコン受光部正面から左右に約30度以内
- ・リモコンと本体リモコン受光部(照明部)の間に障害物があると、リモコンが正常に動作しないことがあります。

●操作のしかた

1. 壁スイッチをオンにする

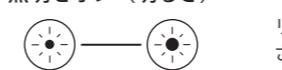
購入後初めて接続した場合、照明が点灯します。

2. リモコンを操作する

・照明をオン(調色)



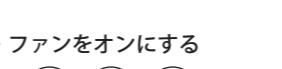
・照明をオン(明るさ)



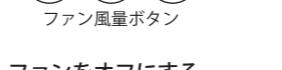
・照明をオフにする



・ファンをオンにする



・ファンをオフにする



・照明・ファンをオフにする



リモコンでオフにした状態で壁スイッチをオンしても点灯しません。

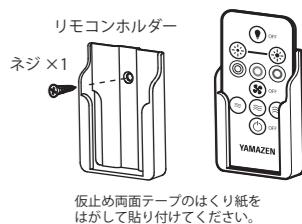
壁スイッチをオンにして、リモコンで操作してください。

△切り忘れ防止機能について

最後に操作してから約12時間が経過すると、照明の点灯とファンの回転が自動的にオフになります。続けてご使用になる場合は再度リモコンで操作してください。
※壁スイッチのオンオフでは動作しません。

●リモコンホルダーを設置する

付属のリモコンホルダーは、リモコン反応を確認のうえ、背面にある仮止め両面テープで仮止めをしてください。設置場所が決まりましたら、付属のネジを使用して設置してください。



※設置場所によってはリモコンホルダーに入れたまま操作しても、本製品は反応しないことがあります。

■お手入れについて

- 警告**
- ・必ず壁スイッチをオフにし、配線器具からはずす
 - ・消灯直後の器具には触らない 器具が高温になっており、やけどの原因となります。

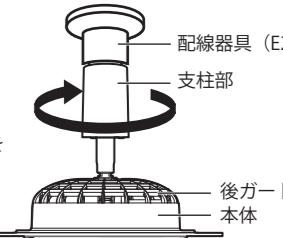
●配線器具からのはずし方

1. 壁スイッチを「オフ」にする

2. 製品を取りはずす

支柱部

支柱部を左(反時計回り)に回して、ソケットを配線器具(E26)から取りはずしてください。



本体

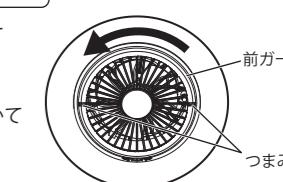
本体を左(反時計回り)に回すことでも、ソケットを配線器具(E26)から取りはずすことができます。

・この場合、水平左方向へ約300度回ったあとにソケットがゆるみますので注意ください。
※再度取り付ける場合は水平右方向へ約300度回ったあとにソケットがします。

※回す方向は、下の前ガード側から見た方向です。

●前ガードのはずし方・取り付け方

- 注意**
- 羽根の先端などでけがをしないよう、十分注意する



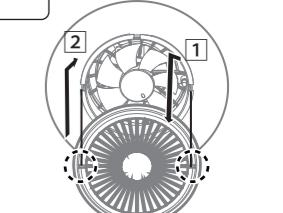
前ガード・羽根のお手入れは、前ガードをはずして行います。

前ガードのつまみを反時計回りに回し、手前に引いて前ガードをはずします。

※羽根は取りはずすことができません。

- 警告**
- 前ガードを取り付けずに運転しない
事故・故障の原因となります。

① 前ガードの凸部を本体にある凹みに合わせて取り付けます



② 前ガードを時計回りに回し、前ガードがはずれないようにロックします

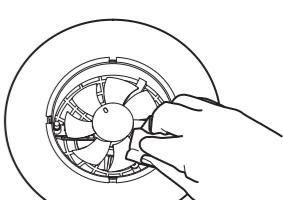
●お手入れについて

製品は定期的にお手入れしてください

使用しているうちに風が弱くなった場合、羽根やガードにホコリなどが付着して、風量が低下している可能性があります。

柔らかい布をぬるま湯かうすめた中性洗剤につけて、よくしぼってから拭きしてください。
樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となります。

前ガード・後ガードについたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。



- 禁止**
- ・シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しない
変色・変形の原因となります。
 - ・本体に水をかけて洗わない 感電・故障の原因となります。

ホコリなどの汚れが付いていないように見えても風が弱くなったと感じられる時は、お手入れで改善することができます。

●保存のしかた

長期間(3ヶ月以上)設定を変更せず、リモコンを使用しない時は電池を取りはずしてください。

本体を取りはずして保存する場合は、お手入れをして十分乾燥させてから、ホコリがないようにビニール袋などに入れて、湿気のない場所に保存してください。